



まち ある おお じしん かん 町を歩いていて、大きな地震を感じたらどうするの

ビル街では、落ちてくるものに気をつけて、じょうぶそうなビルにひなんする

ビル街の、鉄筋コンクリート造りなどの建物は、地震に対して、こわれのないような構造を
かんが 考 えて、建てられているので、地震が起こったときに、一気にこわれてしまうことは、ま
ずないと 思 われます。

しかし、かん板や、ネオンサインなどが落ちてきたり、建物のガラスが割れて、飛び散
たりします。かべにはりつけた、レンガやタイルなどが、落ちてくる危険もあるので、よく
ちゅうい 注意して歩きます。かばんやコート、買い物ぶくろなどを、持っているときは、それで 頭
まも 守るようにします。

また、近くに、じょうぶそうな、ビルがあるときには、そのビルの中に入れてひなんし、
いちじ 一時ようすを見るようにします。

しょうてんがい じゅうたくがい ふる たてもの とお 商店街や住宅街では、古い建物から遠ざかる

もくぞう しょうてんがい じゅうたくがい ある じしん お ふる たてもの まぐち
木造の商店街や、住宅街を歩いているときに、地震が起こったときは、古い建物や間口
ひろ たてもの の広い建物は、たおれるおそれがあるので、その建物から遠ざかります。

やね 屋根がわら、まど 窓ガラス、かん板などが落ちてきたり、じどうはんばいき 自動販売機がたおれてくる、危険も
ある ちゅうい 注意して歩きます。

じゅうたくがい たか たてもの すく あんぜん おも
住宅街は、高い建物が少ないので、安全だと思ってもかもしれませんが、そうともいえない
のです。ブロックべいや石べい、もんちゅう 門柱などが、たおれてくることがあります。

1978年の宮城県沖地震では、たおれてきたブロックべいの、下じきになって、多くの
ひと な 人が亡くなりました。(監修・国司 真)

